

# くらしき まち歩き さと歩き マップ



倉敷市  
倉敷地区  
茶屋町学区

作成：茶屋町学区愛育委員会  
協力：茶屋町地区社会福祉協議会  
茶屋町小地域ケア会議  
発行：倉敷市（令和5年11月改訂）

## 指定緊急避難場所

「指定緊急避難場所」とは、危険が切迫した状況において命を守るため、緊急に避難する場所のことです。

市が発令する避難情報や気象庁が発表する気象情報に従って早めの避難を心がけるとともに、日頃から避難経路などを確認しておきましょう。

- 1 茶屋町小学校  
茶屋町早沖 445
- 2 茶屋町東幼稚園  
茶屋町早沖 442
- 3 茶屋町西幼稚園  
茶屋町 291-5
- 4 茶屋町公民館  
茶屋町 1604-4
- 5 東陽中学校  
高須賀 315

洪水 (想定最大)	土砂	高潮	地震	津波
▲2階以上	○	▲2階以上	○	○

最新のハザード状況は岡山県統合型GISをご参照ください。  
(上記の情報は令和5年3月時点)



## 茶屋町の歴史

昔は当地周辺一帯は完全に海域で、吉備の穴海と呼ばれていました。千石船が東西に通う航路であったともいわれています。

江戸時代中ごろ、徐々に干拓されていき陸地へと変わっていきます。いつしか田園が広がり、穀倉地帯として米や麦の他、い草や綿花の栽培が盛んに行われました。

大正中期にはゴム工業、昭和初期には農業機械製造も発達し、商工業都市的性格も備えています。

岡山市と倉敷市の市街地の中間の辺りに位置し、それぞれのベッドタウンとして賑わう地区です。近年は宅地造成がなされ、住宅が増え都市化が進んでいます。



干拓300年を記念して作られた石碑

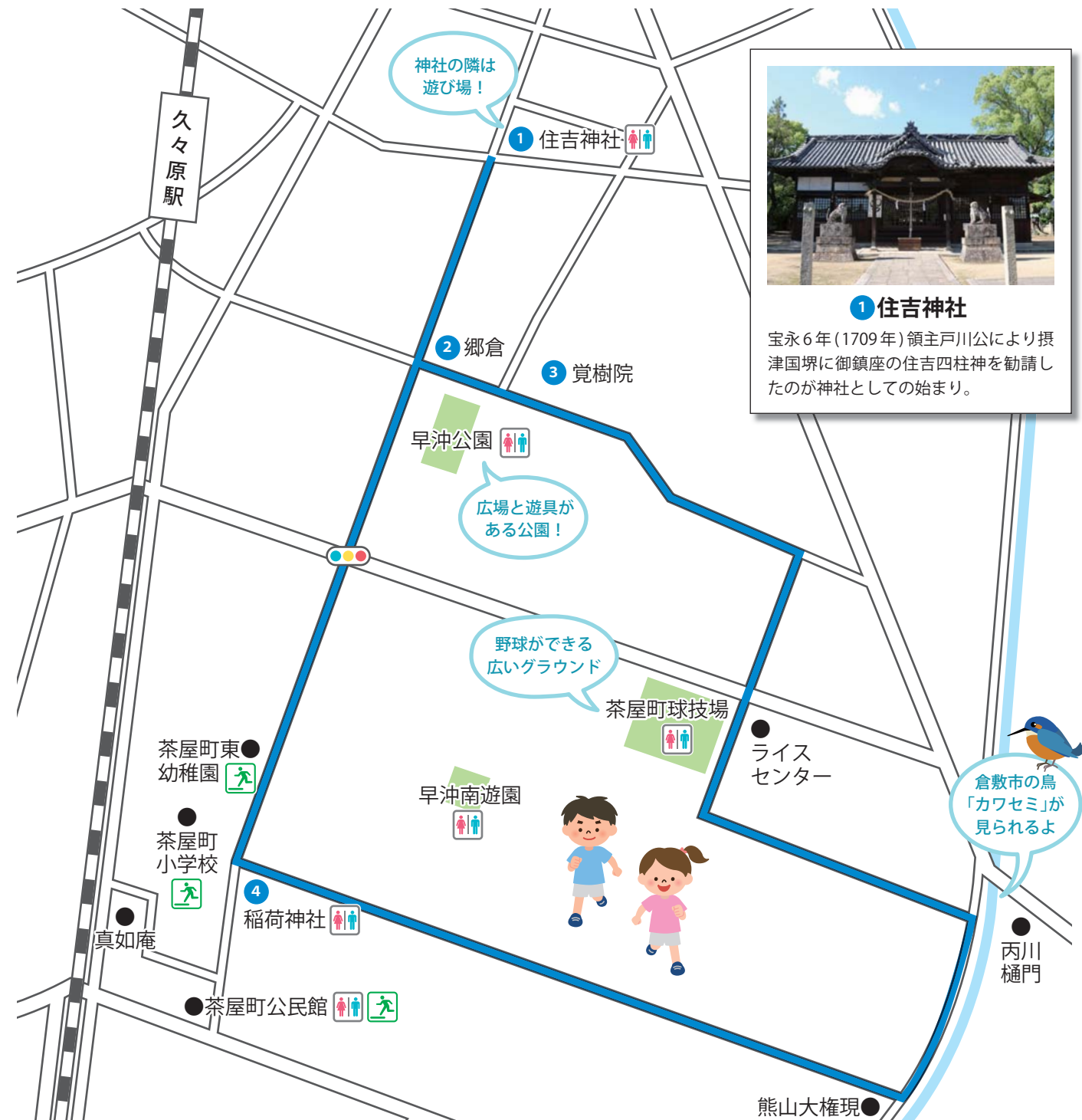


伝統ある「茶屋町の鬼」



茶屋町学区のウォーキングコースをご紹介します！

## A コース 住吉神社・覚樹院コース 1時間7分 (5.5km)



### 1 住吉神社

宝永6年(1709年)領主戸川公により摂津国堺に御鎮座の住吉四柱神を勧請したのが神社としての始まり。

神社の隣は遊び場！

1 住吉神社

2 郷倉

3 覚樹院

広場と遊具がある公園！

早沖公園

野球ができる広いグラウンド

茶屋町球技場

早沖南遊園

ライスセンター

倉敷市の鳥「カワセミ」が見られるよ



### 2 郷倉

江戸時代、農村に設置された公的な穀倉。明治12年には精成尋常小学校として使われていた。



### 3 覚樹院

寛政10年(1798年)に「各樹庵」として作られた。



### 4 稲荷神社

享保18年(1733年)に伏見稲荷神社(京都)の御分霊を勧請して創建。現在の本殿は安永3年(1774年)の造営。



**B コース** 真如庵・常夜燈コース 歩 46分 (3.6 km)



**1 常夜燈**

夜道の安全のため、街道沿いに設置されていた。碑文には「萬延元年(1860年)庚申十月」と書かれている。



**2 茶屋町小学校**

「自ら学び考え、人間性豊かで、たくましく生きる力をもった児童を育成する」を掲げ、令和5年に創立150周年を迎えた。



**3 真如庵**

茶屋町の開拓に力を注ぎ、帯江新田百町歩千石の土地を開いた帯江の領主、戸川安廣公を祀る。



**4 茶屋町公民館**

生涯学習の場として講座やグループ活動の数が倉敷市内でも多く、図書もたくさんの方が利用している。



建物を正面から見ると、「茶屋町の鬼」をイメージした形になっているよ!

倉敷市の鳥「カワセミ」が見られるよ

テニスコートがあるよ!

瀬戸大橋線で「アンパンマン列車」が見られるよ!

アンパンマンが列車になって茶屋町駅を通過するよ。岡山～琴平・高松間を走る「アンパンマントロッコ」も見られるかも!? (乗車は予約制)

運行情報などのお知らせはこちらから ▶ JR 四国 アンパンマン列車 🔍

- 災害発生時に避難場所となる茶屋町公民館には、災害に備えた「防災備蓄保管庫」を設けています。
- 非常食
  - 保存水
  - 簡易トイレ
  - 敷きマットや毛布
  - 投光器
  - トイレトイレットペーパー
  - 発電機
  - コードリール
  - 組み立てテント(茶屋町地区社協所有) …等



**C コース** 眠亀記念館・金毘羅宮コース 歩 48分 (3.8 km)



**1 磯崎眠亀記念館**

岡山特産のい草を使った「錦莞菴」を発明した磯崎眠亀。住宅兼作業場として明治7年(1874年)に建築されたもの。



**2 茶屋町の鬼**

200年以上前に起こった民俗文化が、茶屋町の鬼。「茶屋町の鬼保存会」が地域の発展と伝統を守っている。



「茶屋町の鬼保存会」とは?

茶屋町の鬼は、倉敷市茶屋町地区に200年以上前に起こった民俗文化です。様々な形相の鬼面に、家紋等をあしらった胸当て・手甲・脚絆(きやはん)の装束に派手なタスキを背中に垂らした姿で、杖やこん棒を持ち、神社の境内や茶屋町駅前にも現れたり、お神輿とともに町内を歩き回ったりしていました。昭和50年(1975年)に「茶屋町の鬼保存会」が結成され、茶屋町の鬼の保存や推進を目的とした鬼装束の作成や管理、地域の催しへの参加や、茶屋町の鬼を中心としたイベントの企画・運営を行うようになりました。



**3 金毘羅宮**

「備中茶屋町今神戸」といわれた明治期、門前に芝居小屋、境内に露店街などが作られ、大変賑わっていた。



**4 桜道歩道**

下津井電鉄跡地の両側1kmに植えた桜が並木となり、通称「さくら並木」は市民の散歩道となっている。



**5 五間樋排水機場**

上流から流れてくる雨水をポンプを使って倉敷川へ排出される。元々は田んぼの水を調整するために使われていた。